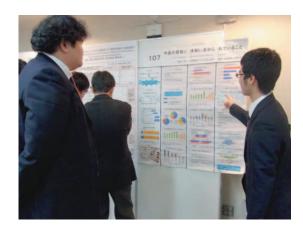
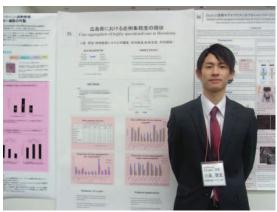
および広島県内の悪性腫瘍手術症例の施設間分散度の研究を行いました。





① 4 年生臨床実習入門プログラム

4年生臨床実習入門プログラムの企画、調整を行いました。また、プログラム内の採血実習、医療面接実習を担当し、地域医療実習に関連して3コマ講義しました。その内1コマは帝京大学地域医療学の井上教授にお願いし大変学生からの評価の高い講義内容でした。

⑧共用OSCE(客観的臨床能力試験)、卒業OSCE等OSCE関連業務

4年生共用OSCE実施本部および医療面接OSCE評価者や模擬患者対応を担当しました。また、6年生卒業OSCEの企画および実施や研修医OSCEの企画などOSCE関連業務を担当しました。

⑨1年生医療行動学

医学科1年生4名に対して医療行動学を実施しました。外来患者の動線をたどり患者の立場を体験した後に、医療のあるべき論をディスカッションしました。

10 1 年生生命·医療倫理学

医学科1年生を対象に、「高齢者医療における倫理」と題して講義しました。

(ウ) ふるさと枠学生の教育

①地域医療研究会(通称フルセミ)

毎週水曜日、昼食をとりながらふるさと枠全員でミーティングをしています。昨年度までは当講座ス









タッフが毎回の活動内容を決めていましたが、今年度は学生達が主体となって年間スケジュールを決めました。具体的には各種連絡事項の伝達、医療面接の演習、診察や手技の演習などを行いました。長期休暇前には現地実習の準備も行いました。昨年度同様、学生側の希望により毎週一回(水曜日)行いました。このような活動を通して、ふるさと枠学生の間の仲間意識の醸成、アイデンティティーの確立、将来への不安解消やモチベーション維持につながるよう心がけています。尚、本研究会は地域医療に興味があるすべての学生に開放しており、ふるさと枠以外からの参加者もいます。

②夏季実習(地域医療セミナー)

本講座、広島県、(財) 広島県地域保健医療推進機構、広島県国民健康保険診療施設協議会の共催で、 平成24年8月22日、23日、県内中山間地の医療機関16カ所で泊まり込みの実習を行いました。本学ふる さと枠学生、自治医科大学学生、他大学所属の広島県奨学生など66名が参加しました。以下のようなコ ースを設け、3-6名ごとに分かれて各医療機関で実習を行いました。











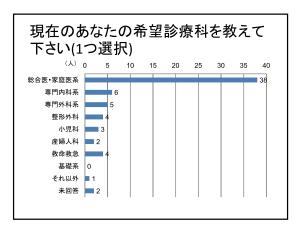


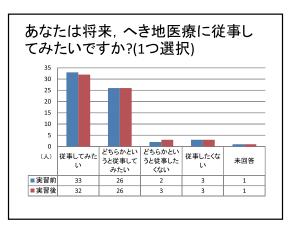


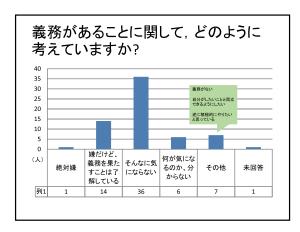
2日目の最後は広島大学に集合してワークショップを 行い、学んだことを共有しました。実習後の評価の結果 と、新聞報道の内容は巻末の添付資料をご覧ください。 学生の報告書等は別冊の実習報告書に掲載しています。

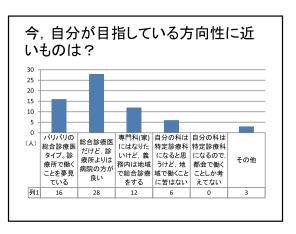


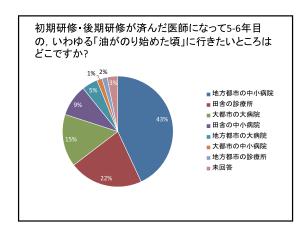


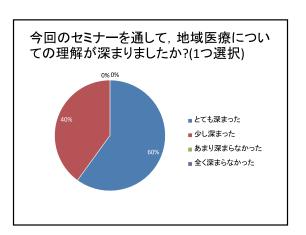












③海外研修

昨年のオーストラリア研修に続き、本年度はネパール研修を行いました。スケジュール等は以下のとおりです。

日 程	平成24年年9月21日 ~ 9月30日
研修場所	ネパール
研修受け入れ者	楢戸健次郎
研修参加者	広島大学医学部医学科ふるさと枠1年生10名
引率者	地域医療システム学講座 松本正俊

研修内容	
9月21日	広島駅集合。関西国際空港より出国。
9月22日	バンコク経由でカトマンズ到着。市内観光。
9月23日	トリブバン大学医学部、看護学部、同大学附属病院訪問。小児病院訪問。バクタプル観光。
9月24日	KIST医科大学訪問。
9月25日	アンナプルナ脳外科病院訪問、チャパカオン診療所、アナンダバン・ハンセン氏病施療院訪問。
9月26日	ポカラに移動。
9月27日	ポカラ・ガンダキ病院訪問。
9月28日	カトマンズに移動。日本大使館訪問。JICA事務所訪問。
9月29日	カトマンズ空港より出国。
9月30日	バンコク経由で関西国際空港到着。広島駅にて解散。

現地で長く医療活動をしておられる楢戸健次郎先生に案内をしていただき、また広島大学に留学経験のある現地の医療者の方々にもお世話になりました。首都の大学病院や専門病院、地方都市の病院、へき地の診療所など様々な施設を訪れることができました。KIST医科大学では現地学生と交流し、プレゼンテーション等も行いました。

政情の不安定、貧困、大気汚染、水質汚染など、医療の枠を超えた問題によって様々な医療問題が生じているネパールの現状をつぶさに見ることができました。同時に、ネパール人の温かさ、自然の豊かさにも触れることができ、貴重な体験をいたしました。













4冬合宿

本講座と(財)広島県地域保健医療推進機構の共催で、 平成24年1月5日、6日、北広島町の豊平どんぐり村で 一泊の合宿を行いました。参加者は本学ふるさと枠学生、 本学一般学生、自治医科大学学生の計56名でした。

今年の冬合宿は例年と異なり、学生達自身が企画を行いました。「医師・医療に限らない視野/会話・スピーチ・発信能力」というテーマのもと、医師以外の講演者2名にもお越しいただき、以下の内容を行いました。



○豊平病院見学

- ○森山美知子先生(成人看護開発学教授) 講演
- ○グループワークとプレゼンテーション
- ○永井宏明氏(NPO法人地域活性化プロジェクトチームGAMBO)講演
- ○医療面接ロールプレイ



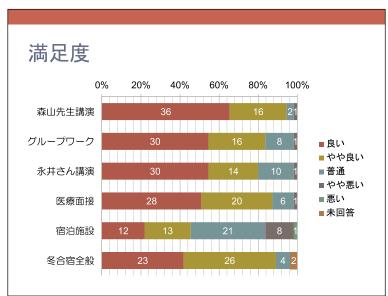












⑤春季実習

春季休暇中に、ふるさと枠学生および一般枠希望学生に対して春季実習を行いました。計14名が1~4名ずつ中山間地域の7施設を訪問し、原則1泊2日の実習をさせていただきました。施設ごとに特徴的なプログラムを作成していただきました。(ご協力いただいた施設:尾道市立市民病院附属瀬戸田診療所、公立みつぎ総合病院、甲奴診療所、大和診療所、雄鹿原診療所、市立三次中央病院、庄原赤十字病院)



平成25年3月 瀬戸田診療所にて実習

(工) 第5回地域医療総合診療懇話会

第4回は広島県、(財) 広島県地域保健医療推進機構との共催で、平成24年12月8日に広島グランドインテリジェントホテルにおいて、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島・へき地医療学講座教授の前田 隆浩先生をお招きして「地域医療教育の今後の在り方」という演題で講演していただきました。離島が多いという地理的特性ゆえに、長崎大学は以前から地域医療教育に力を入れており、この懇話会では離島における先進的な取り組みについてご紹介いただきました。また、前田先生は全国地域医療教育協議会の会長も務めておられ、全国の大学で



行われている地域医療教育の現状や今後の見通しについても説明いただきました。





(オ)その他

①地域医療実習連絡会議

5年生地域医療実習およびアドバンスト地域医療実習の協力施設に出席していただき、平成25年3月に地域医療実習連絡会議を行いました。各施設の1年間の報告とともに、学生からの逆評価やアンケート結果を分析し、今後の課題を検討しました。来年度に関しては、学生に対して全施設において、主治医意見書の記載をさせてみよう、といったような目標設定や各評価やアンケートの見直しが行われました。また、各病院長の評価に基づいて学生の優秀実習レポート賞を決定しました。優秀レポート学生に